



デジタル 7 ch  
アナログ 12 ch

# 第40期 報告書

株式会社テレビ東京

2007年4月1日～2008年3月31日

# digital

To Our Stakeholders ①

Up Date ⑤

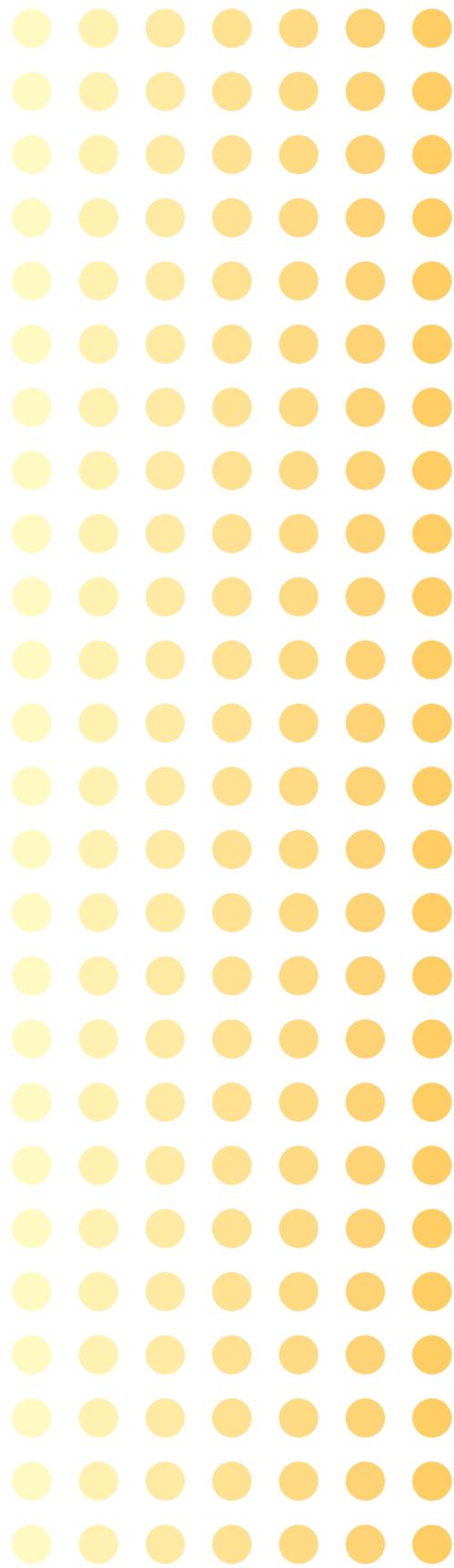
Introduction 2008 ⑧

2008年3月期決算のご報告 ⑨

会社情報 ⑪

株式情報 ⑬

ホームページのご案内／株主メモ ⑭



# To Our Stakeholders

株主の皆様へ



代表取締役会長  
菅谷 定彦

代表取締役社長  
島田 昌幸

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第40期報告書をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に心から御礼申し上げます。

当社は、放送事業者としての公共的使命と社会的責任を深く理解し、良質で健全な番組を視聴者に提供し続けることで、社会とともに発展していくことを目指しております。

厳密なコストコントロールを進めながら、個性的でクオリティの高い番組を制作・編成するという路線を堅持し、視聴者や広告主のニーズに応えることで収益力を高め、株主の皆様のご期待に応えていく所存です。

当期の広告市場は全体としては回復基調でしたが、インターネット広告拡大の影響によりテレビ広告は3年連続の減少となりました。

当社グループの2008年3月期連結決算は、売上高は1,216億4千5百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は30億4千1百万円（同31.6%減）となりました。また、持分法適用関連会社の事業見直しによる損失を計上したため経常利益は28億1千9百万円（同41.2%減）、当期純利益は10億5千5百万円（同56.7%減）となり、売上高営業利益率は2.5%になりました。

当社グループは収益性を重視し、経営指標として「売上高営業利益率=5%」を掲げております。当期においても、番組を中心としたコンテンツ制作力の強化のため、番組制作費などを増強しましたが、テレビ広告収入が伸び悩み、デジタル化に伴うコス

# Highlights ○ ハイライト

2008年 3月期実績 (連結)	売上高 <b>1,216億4,500万円</b> (前年同期比2.0%減)	営業利益 <b>30億4,100万円</b> (前年同期比31.6%減)	
	経常利益 <b>28億1,900万円</b> (前年同期比41.2%減)	当期純利益 <b>10億5,500万円</b> (前年同期比56.7%減)	売上高営業利益率 <b>2.5%</b> (前年同期比1.1ポイント減)
視聴率	ゴールデンタイム (19時~22時) <b>8.3%</b> (前年同期比0.1ポイント減)	プライムタイム (19時~23時) <b>7.9%</b> (前年同期と同じ：歴代最高タイ)	全日平均 (6時~24時) <b>3.8%</b> (前年同期と同じ：歴代最高タイ)

トの増加などによる営業利益の減少に伴い、営業利益率も低下しております。

しかしながら、中長期的な視点において、将来の成長の基礎固めとして、コンテンツ制作力の強化は最大の課題であると考えております。さまざまな経営環境に柔軟かつ積極的に対応し、持続的な収益性向上を実現することで、企業価値を高めていく所存です。

コンテンツ制作力の強化の結果、当期の視聴率は、ゴールデンタイム8.3%（前年同期比0.1ポイント減）、全日平均3.8%（前年同期と同じ：歴代最高タイ）、プライムタイム7.9%（前年同期と同じ：歴代最高タイ）となり、シェア（占拠率）ではプライムタイムが歴代最高、ゴールデンタイム、全日平均は歴代最高タイを達成しました。

## 放送業界をめぐる環境

2011年7月にアナログ放送が終わり、完全デジタル時代を迎えます。それに向けて高画質の映像コンテンツを楽しむ手段が多様化し、視聴者のテレビの見方が変わろうとしています。従来のテレビ放送

の枠組みを超え、インターネットなど他メディアも巻き込んだコンテンツ競争が激しくなっています。旧来型のビジネスモデルだけでは捉えきれない新しい動きが起きる時代に差し掛かっています。足元の経営環境にはHUT（世帯視聴率）の伸び悩みや広告市況の軟化など強い逆風が吹いており、立ち止まっていると生き残れない厳しい現実と直面しています。

このような状況下、当社グループは、デジタル時代に「最良にして最強のキー局」を目指すための基礎固めの時期を迎えました。変化にしなやかに対応できるか否かで、デジタル時代に更なる成長を遂げるか、変化に取り残されるかが決まる重要な時期であります。環境の変化を千載一遇のチャンスとし、グループ一丸となって果敢に変化に立ち向かいます。

「アナログ：12チャンネル」での数々の挑戦で築き上げたグループ力を「デジタル：7チャンネル」でさらに飛躍させるため「挑戦」と「改革」をキーワードに、失敗を恐れず、従来のやり方や常識にとらわれず邁進していきます。

## 2008中期経営計画

当社グループは、2009年3月期からの3カ年の08中期経営計画で、対象期間をデジタル時代に「最良にして最強のキー局」を目指すための基礎固めの時期と位置づけ、「挑戦」と「改革」を全社目標のキーワードに据えました。

「挑戦」のキーワードでは「ヒット番組の開発」、「マルチユースの推進」、「新規事業の立ち上げ」、「包括的な海外戦略の構築」、「ブランド戦略の推進」等の重要施策を通じて、目標指標である「売上高営業利益率=5%」の足場を固めていきます。

テレビ局の利益の源泉は「番組」です。多くの視聴者に愛され、多くの広告主に信頼される番組の開発・育成が課題と考えています。個々の番組への制作費の配分を大胆に見直すとともに思い切った番組の改廃を進めるなどあらゆる手段を総動員して、中長期的な収益の柱となるレギュラー枠での「看板番

組：ヒット番組」を誕生させます。ヒット番組をさらに持続、拡大することで利益の水準を引き上げ、この利益が制作力強化の原資となるという好循環をもたらす、足腰の強いタイムテーブルを構築します。

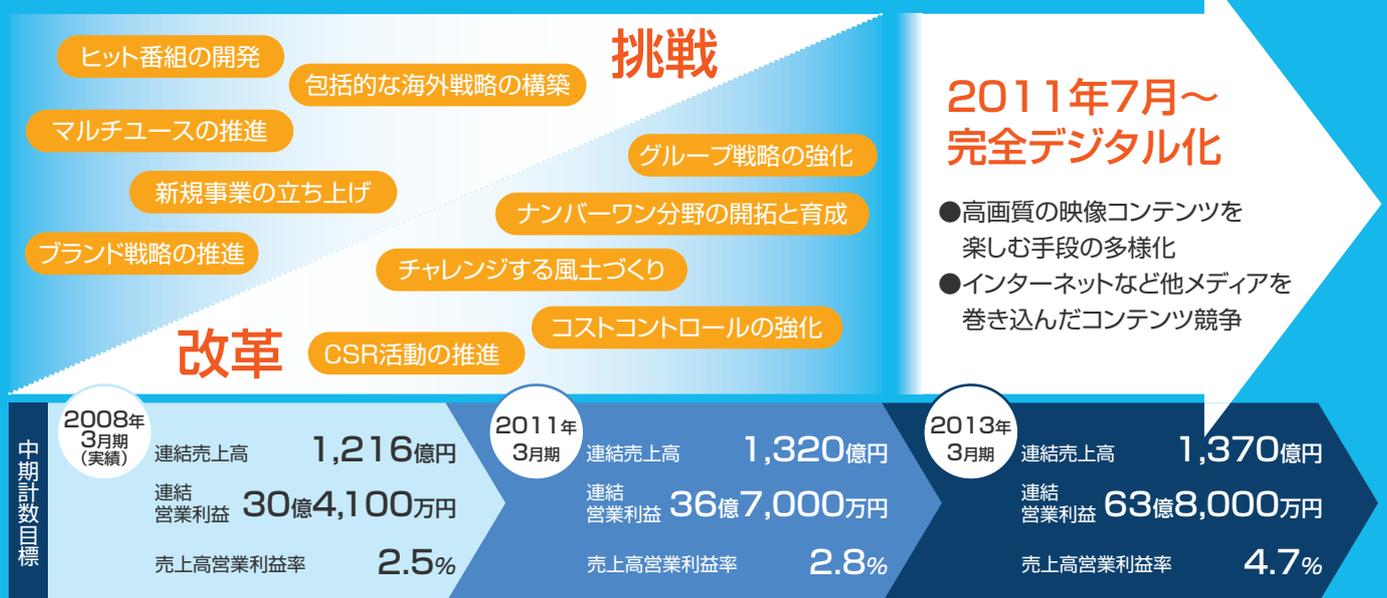
収益力の向上には放送外収入の拡大も重要であり、制作現場に全ての番組をライセンス展開するという発想を浸透させます。企画段階からマルチユースを念頭に置いて、権利獲得の段階で二次利用しやすい権利、収益につながる権利を意識して取り組みます。

加えて、収益力を高めるため、全社的にテレビ東京の強みと弱みを洗い出したうえで、強みを収益につなげるような「新規事業」を模索します。さまざまな案件に対して組織的・横断的に取り組むため、経営戦略局内に専門のチームを立ち上げました。

「改革」のキーワードでは「ナンバーワン分野の開拓と育成」、「チャレンジする風土づくり」、「コ

## 2008中期経営計画 (2009年3月期～2011年3月期)

デジタル時代(2011年7月)へ向けた「最良にして最強のキー局」への基礎固め



ストコントロールの強化]、「CSR（企業の社会的責任）活動の推進]、「グループ戦略の強化」等の重要施策を通じて、デジタル時代の成長の土台を築きます。

未知の分野に果敢にチャレンジする風土を養い、慣例や慣習にとらわれずに大胆な改革を断行するとともに、収入やコストの構造を柔軟に変え、企業体質を強化する考えです。

「個性・クオリティ・パワー」路線を打ち出し、利益を削って制作費を増強してきた結果、テレビ東京は「卓越性・差別化」（アウトスタンディング）において高い評価を得たと思います。視聴者やクライアントは、確実に「テレビ東京らしさ」を意識しています。

「番組づくり」という最も外部から見えやすい領域での「テレビ東京らしさ」の追求は、現状の視聴者にターゲットを絞り込むことでもなければ、得意ジャンルの要素を他の番組で真似ることでありませぬ。他局や他のメディアよりも独創性にこだわり、「卓越性・差別化」で視聴者や広告主を魅了する新番組を仕掛けることで、企業価値や収益の向上を図ります。

「テレビ東京らしさ」の追求は、社内のあらゆる部門でも取り組みます。不祥事が起きた際の対応の早さや誠実さ、いわゆる“パカパカ”防止策に見られる安心・安全確保の取り組み、企業としての健全さなどは「卓越性・差別化」の評価の一部であります。

メディア企業としての特色を生かした社会貢献活動、内部統制やコンプライアンスの強化・徹底、危機管理システムの確立など、報道機関として、上場企業として社会的責任を果たすことを強く意識していきます。

また、2008年7月にグループ企業の管理・監督機能を強化するとともに、効率的なグループ運営を図るため、関連企業統括室を新設します。連結対象子会社に止まらず持分法適用会社も含め、グループ総力の向上を目指し、コンプライアンスの徹底や内部統制の強化など必要な措置を順次実行に移す所存です。

こうした施策により、中期計数目標として、2011年3月期の連結売上高は1,320億円、営業利益は36億7千万円、売上高営業利益率は2.8%、単体売上高は1,200億円、営業利益は21億6千万円、売上高営業利益率は1.8%を目指します。経営指標として「売上高営業利益率=5%」に連結で近づくのは2013年3月期で、連結売上高は1,370億円、営業利益は63億8千万円、売上高営業利益率は4.7%、単体売上高は1,250億円、営業利益は37億5千万円、売上高営業利益率は3.0%を見込んでいます。

株主の皆様には今後の事業運営にご理解いただくとともに、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

2008年6月

代表取締役会長

菅谷定孝

代表取締役社長

島田昌幸



# 放送事業



世界卓球2007



金曜時代劇シリーズ  
「よろすや平四郎活人剣」

**放** 送収入のうちタイム収入は、ローカル部門の売上が好調となったものの、ネット部門が、夕方のアニメ番組の減少等により前年度を下回り、特番部門も前年にサッカーW杯があったことの反動により前年度割れしたことから、全体としては578億2百万円、前年同期比8.2%の減収となりました。一方、スポット収入は「フレンドシップ・プロジェクト」等の企画セールスを積極的に展開し、健闘しましたが、自動車業界の出稿の減少等により275億7百万円、前年同期比2.1%の減収となりました。タイム・スポットトータルでは、853億9百万円、前年同期比6.3%の減収となりました。BS収入は20億6千9百万円、前年同期比6.7%の増収となりました。

国内番組販売は、金曜時代劇がシリーズ化してベルト編成の提案ができるようになったことや、深夜番組のセールスが好調に推移したことなどから、46億5千2百万円、前年同期比1.2%の増収となりました。

以上の結果、放送事業の売上高は1,055億2百万円、前年同期比3.5%の減収となりました。

費用面では、売上減少に伴う代理店手数料の減少等により、営業費用全体では1,037億5千6百万円、前年同期比1.8%の減少、営業利益は17億4千6百万円、前年同期比52.0%の減益となりました。



## 「タイム収入」

タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。系列局を通じてCMを放送するネット部門と、当社の放送エリア(1都6県)のみCMを放送するローカル部門に区分されます。

## 「スポット収入」

スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMなどのことです。CMの放送は当社の放送エリアのみに限られます。

## 「番組販売」

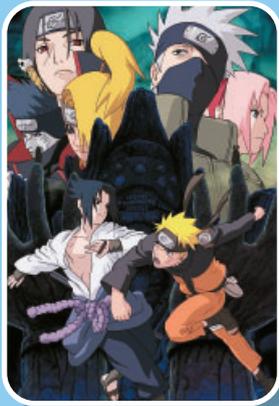
当社の番組を他の放送局に販売すること。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワークがカバーする地域外でも当社の番組は視聴されています。

## 「フレンドシップ・プロジェクト」

第3弾となる今回は、「恋とか、愛とかの少し先。=夫婦の絆」をコンセプトに、業種の異なる3社(全日空、プラチナ・ギルド・インターナショナル、読売新聞<五十音順>)によるドラマ仕立てのコラボレーションインフォマーシャル『90秒の夫婦の絆』を放送しました。



# ライツ事業



NARUTO—ナルト—疾風伝  
©岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ



劇場版  
ポケットモンスター2006  
「ポケモンレンジャーと蒼海の王子マナフィ」  
©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku  
©Pokémon  
©2006ピカチュウプロジェクト



ドラマ24シリーズ  
「怨み屋本舗」

## イ

イベント収入は、「JAPAN OPEN2007」、「スターズ・オン・アイス」等のスケートイベント、「柔道ワールドグランプリ」が堅調に推移したものの、前年に大型イベント「メトロポリタン・オペラ2006」があったことの反動もあり、売上高は19億9千9百万円、前年同期比18.2%の減収となりました。

ソフトライツ収入では、アニメ番組「NARUTO」、「銀魂」等が特に海外展開を中心に堅調に推移し、「ドラマ24シリーズ」や「やりすぎコージー」等のDVD販売が好調でした。映画事業においては、「劇場版ポケットモンスター2006」、「子ぎつねヘレン」等が好調でした。音楽出版事業も堅調に推移しました。ソフトライツ収入全体としては157億1千8百万円、前年同期比12.0%の増収となりました。

以上の結果、ライツ事業の売上高は177億1千7百万円、前年同期比7.6%の増収、営業利益は15億2千2百万円、前年同期比36.4%の増益となりました。



## 「ライツ事業」

### ソフトライツ部門

- ◎放送番組の周辺権利を利用した事業  
放送番組のビデオ化や海外販売、玩具の商品化などを通じて収益を上げる事業
- ◎映画出資事業  
映画への出資により、興行収入やビデオ化、放映権の販売などを通じて収益を上げる事業
- ◎音楽著作物等の管理  
音楽著作物の企画、制作、管理に係る事業、保有する映像素材などの販売事業等

### イベント部門

スポーツ競技や文化イベントの主催などにより収益を上げる事業



# 番組編成



金曜時代劇シリーズ  
「幻十郎必殺剣」



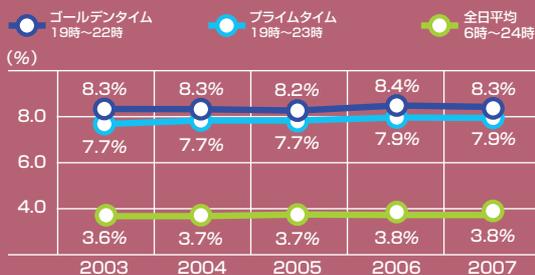
主治医が見つかる診療所

**部** 門別視聴率はゴールデンタイム8.3%（前年同期比0.1ポイント減）、プライムタイム7.9%（前年同期と同じ）、全日平均3.8%（前年同期と同じ）となりました。全日平均、プライムタイムは歴代最高タイとスポット収入に貢献しました。また、シェア（占拠率）で見るとプライムタイムが歴代最高、ゴールデンタイム、全日平均は歴代最高タイを記録しました。

ゴールデンタイムに関しては、金曜20時の「金曜時代劇シリーズ」が9.8%と前年同期と比して1.4ポイント増となりました。また、「主治医が見つかる診療所」が前年同期より1ポイント以上増えました。一方、「アイシールド」、「TVチャンピオン2」等が前年同期を下回りました。

特別番組では、「元祖！大食い王決定戦」（19.7%）、「世界卓球2008・女子団体準決勝シンガポール戦」（15.9%）、「100円玉に愛をこめて」（11.1%）等が高視聴率を獲得しました。

## 視聴率の推移



## 高視聴率番組

レギュラー・シリーズの重複を除く

●レギュラー番組	放送日	視聴率 (%)
1 開運!なんでも鑑定団	08.02.12	18.1
2 土曜スペシャル (東海道路線バスの旅)	08.03.22	15.3
3 金曜時代劇「刺客請負人」	07.07.20	13.4
水曜ミステリー9・ 4 信濃のコロンボ事件ファイル14 死あわせなカップル	07.04.25	13.3
5 いい旅・夢気分(紅葉の山形・蔵王)	07.10.31	12.8

●特別番組	放送日	視聴率 (%)
1 元祖！大食い王決定戦	07.09.30	19.7
2 世界卓球2008・シンガポール戦	08.02.29	15.9
3 日本シリーズ 第5戦 中日×日本ハム	07.11.01	12.7
4 完成！ドリームハウススペシャル	08.01.06	11.5
5 キノシタグループカップ フィギュアスケート JAPAN OPEN2007	07.04.29	11.2
5 ウソかホントかわからない やりすぎ都市伝説2時間SPECIAL	07.08.17	11.2
6 100円玉に愛をこめて	07.08.30	11.1

# Introduction 2008

## 2008年はオリンピック

2008年は五輪イヤー。8月8日から北京オリンピックが開幕します。

テレビ東京では、金メダルの期待がかかる柔道女子63kg級、男子81kg級、また体操の男女床、男子あん馬ほかを、また注目の男子サッカー決勝などの競技をお届けする予定です。キャスターは、トリノ五輪で金メダルを獲得したフィギュアスケートの女王・荒川静香さん、そして名司会者 草野仁さんという組み合わせで、北京から熱い感動をお届けします。



北京オリンピック メインキャスター記者発表

## 広州の感動再び

テレビ東京が4年間にわたり取り組んできた「世界卓球」は広州大会の連日の熱戦が話題を呼び、プライムタイムでの放送全7回の平均視聴率は11.5%を記録しました。2月29日女子準決勝、日本VSシンガポールは視聴率15.9%を獲得しました。「卓球の面白さを知った」、「感動した!」といったご意見を多数頂戴しました。

この「世界卓球2009（個人戦）」が、来年のゴールデンウィークに横浜へやってきます。この世界卓球横浜大会の模様をスケールアップしてお届けしようと考えています。ザクレブ、広州では手にすることができなかった銀メダル以上を目指す日本選手の活躍を余すことなく伝えていきます。2009年ゴールデンウィークは卓球にご注目ください。

このほか、北京オリンピックのメダリストたちが世界中から集まる「～嘉納治五郎杯～柔道ワールドグランプリ2008」が12月に開催されます。柔道ニッポンの威信をかけて迎え撃つ日本選手団、こちらも目が離せません。

また、テレビ局中最多の中継数を誇る女子ゴルフトーナメントもますますヒートアップ。美しきアスリートたちの熱い戦いは11月初旬の「樋口久子IDC大塚家具レディース2008」まで続きます。

また、「フィギュアスケート」、「プロ野球中継」「全日本大学女子選抜駅伝」などテレビ東京のスポーツ中継は熱く燃えています。



世界卓球2008

## Movie

ここ数年洋画を中心に展開してきましたテレビ東京の映画事業ですが、本年度より邦画中心のラインアップを展開していく予定です。

まず、2008年3月に公開した「明日への遺言」を皮切りに、昭和という時代をさまざまな映画で振り返る「シネ

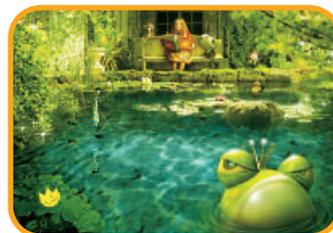
マトリップ to SHOWA」シリーズを開始しました。今年度はこのシリーズを3本公開します。7月にアニメの名作の実写化「火垂るの墓」、9月に楳図かずお原作「おろち」、10月に95歳の監督・新藤兼人最後の作品「花は散れども」を公開いたします。

また、6月に大ベストセラーの映画化「西の魔女が死んだ」、7月には故・松田優作さん用に書かれた脚本を藤原竜也主演で制作した「カメレオン」、8月はブームになりつつある落語の世界を一風変わった師弟関係で描く「落語娘」や、中村獅童、ユースケ・サンタマリアほか新進気鋭の新人監督の短編映画6本で構成する「R(ルート)246」などのエンタテインメント作品の公開も控えています。

例年好評をいただいていますアニメ映画は、「劇場版ポケットモンスター・ダイヤモンド&パール ギラティナと氷空の花束シェイミ」(7月)、「劇場版NARUTO疾風伝 絆」(8月)、「劇場版BLEACH」(12月)の3作品を公開いたします。

毎週金曜深夜放送中のドラマ24と連動した「フライング☆ラビッツ」、大ヒット舞台の映画化で今年一押しのエンタテインメント作品「パコと魔法の絵本」の2本を9月に公開いたします。

以上、どの作品も放送番組と連動しながら事業の拡大を目指してまいります。テレビ東京の映画事業にご期待ください。



「パコと魔法の絵本」

9月13日(土)より全国東宝系にてロードショー  
©2008「パコと魔法の絵本」製作委員会

## Event

今年度もスポーツ、舞台を中心としたイベントを開催してまいります。

スポーツイベントでは、2年目を迎えます「～嘉納治五郎杯～柔道ワールドグランプリ2008」を12月に、好評をいただいているスケートイベント「スターズオンアイス・ジャパンツアー2009」、「JAPAN OPEN2009・カーニバルオンアイス2009」の開催を予定しております。

舞台では、昨年好評を博した藤山直明治座公演を、本年は「元禄めおと合戦」で8月に公演いたします。また、三谷幸喜脚本の「戸惑いの日曜日」の公演を9月に予定しております。

また、日本初公開の浮世絵を集めた「ボストン美術館浮世絵名品展」を10月に日本経済新聞社と共催いたします。

コンサートでは、「ディズニー・オン・クラシック」を11月に、「東急ジルベスターコンサート」を大晦日に開催いたします。

テレビ東京の45周年を間近に控え、皆様楽しんでいただける企画を鋭意進行中です。これからもテレビ東京のイベントでお楽しみください。



～嘉納治五郎杯～柔道ワールドグランプリ2007  
記者発表

連結業績のご報告 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位：百万円)

連結貸借対照表 (要約)	当期 2008年 3月31日現在	前期 2007年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	46,639	45,441
固定資産	32,342	33,397
有形固定資産	16,247	16,347
無形固定資産	1,131	1,074
投資その他の資産	14,964	15,975
資産合計	78,982	78,839
(負債の部)		
流動負債	24,609	23,234
固定負債	3,430	4,075
負債合計	28,039	27,310
(純資産の部)		
株主資本	49,923	49,487
資本金	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684
利益剰余金	32,329	31,893
自己株式	△1	△0
評価・換算差額等	74	1,237
少数株主持分	944	804
純資産合計	50,942	51,529
負債純資産合計	78,982	78,839

(単位：百万円)

連結損益計算書 (要約)	当期 2007年4月1日～ 2008年3月31日	前期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
売上高	121,645	124,069
売上原価	87,451	87,548
売上総利益	34,194	36,520
販売費及び一般管理費	31,152	32,074
営業利益	3,041	4,446
営業外収益	468	466
営業外費用	689	115
経常利益	2,819	4,797
特別利益	92	60
特別損失	303	220
税金等調整前当期純利益	2,608	4,637
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,892
法人税等調整額	302	261
少数株主利益	115	43
当期純利益	1,055	2,440

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)	当期 2007年4月1日～ 2008年3月31日	前期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,059	4,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,095	△657
財務活動によるキャッシュ・フロー	954	△7,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△83	△3,574
現金及び現金同等物の期首残高	8,711	12,285
現金及び現金同等物の期末残高	8,627	8,711

単体業績のご報告 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位：百万円)

貸借対照表 (要約)	当期 2008年 3月31日現在	前期 2007年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	43,279	43,213
固定資産	31,983	32,287
有形固定資産	15,809	15,903
無形固定資産	1,105	1,091
投資その他の資産	15,069	15,293
資産合計	75,263	75,501
(負債の部)		
流動負債	27,810	27,072
固定負債	2,667	3,406
負債合計	30,477	30,478
(純資産の部)		
株主資本	44,706	43,796
資本金	8,910	8,910
資本剰余金	8,684	8,684
利益剰余金	27,112	26,202
自己株式	△1	△0
評価・換算差額等	79	1,226
純資産合計	44,785	45,023
負債純資産合計	75,263	75,501

(単位：百万円)

損益計算書 (要約)	当期 2007年4月1日～ 2008年3月31日	前期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
売上高	110,184	111,200
売上原価	78,453	77,886
売上総利益	31,730	33,313
販売費及び一般管理費	30,386	30,640
営業利益	1,343	2,673
営業外収益	1,145	965
営業外費用	105	148
経常利益	2,384	3,490
特別利益	92	59
特別損失	201	216
税引前当期純利益	2,274	3,333
法人税、住民税及び事業税	391	1,059
法人税等調整額	354	325
当期純利益	1,529	1,948

配当状況	当期	前期
配当金総額(年間)	619百万円	619百万円
1株当たり年間配当金	30円	30円
中間配当	15円	15円
期末配当	15円	15円
配当性向	40.5%	31.8%
連結ベースでの配当性向	58.7%	25.3%

(単位：百万円)

## 連結株主資本等変動計算書(要約) 当期(2007年4月1日~2008年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日残高	8,910	8,684	31,893	△0	49,487
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△619		△619
当期純利益			1,055		1,055
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	436	△0	435
2008年3月31日残高	8,910	8,684	32,329	△1	49,923

	評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産 合計
2007年3月31日残高	1,237	804	51,529
連結会計年度中の変動額			
剰余金の配当			△619
当期純利益			1,055
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△1,162	139	△1,022
連結会計年度中の変動額合計	△1,162	139	△587
2008年3月31日残高	74	944	50,942

(単位：百万円)

## 株主資本等変動計算書(要約) 当期(2007年4月1日~2008年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2007年3月31日残高	8,910	8,684	26,202	△0	43,796
事業年度中の変動額					
剰余金の配当			△619		△619
当期純利益			1,529		1,529
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)					
事業年度中の変動額合計	-	-	909	△0	909
2008年3月31日残高	8,910	8,684	27,112	△1	44,706

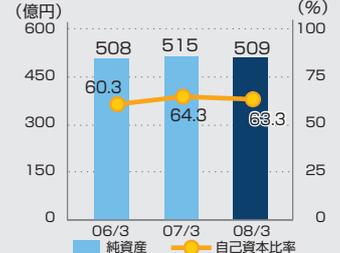
	評価・換算 差額等	純資産 合計
2007年3月31日残高	1,226	45,023
事業年度中の変動額		
剰余金の配当		△619
当期純利益		1,529
自己株式の取得		△0
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額(純額)	△1,147	△1,147
事業年度中の変動額合計	△1,147	△237
2008年3月31日残高	79	44,785

## 連結指標

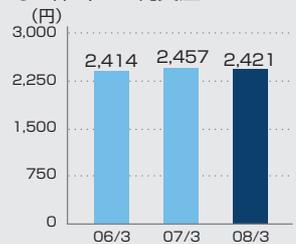
## ●総資産



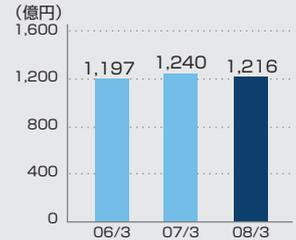
## ●純資産・自己資本比率



## ●1株当たり純資産



## ●売上高



## ●営業利益・売上高営業利益率



## ●経常利益



## ●当期純利益



## 会社情報 (2008年3月31日現在)

## テレビ東京グループ

## 放送事業 (地上波放送、国内番組販売等)

## 番組制作・放送関連業務等

## ■連結子会社

- (株) テレビ東京コマースナル (CM放送の準備)
- (株) テレビ東京アート (美術装置・番組用照明の企画制作)
- (株) テレビ東京システム (システム開発)
- (株) テレビ東京制作 (番組の企画・制作)
- (株) テレビ東京ヒューマン (放送に係る人材派遣)
- (株) テクノマックス (技術制作)
- (株) テレビ東京建物 (スタジオ管理)
- TV TOKYO AMERICA, INC. (米国報道)

## ■主要な持分法適用関連会社

- (株) 日経映像 (番組制作)

## その他

## ■連結子会社

- (株) テレビ東京メディアネット (番組販売)
- (株) テレビ東京ダイレクト (通信販売・広告販売)
- (株) エー・ティー・エックス (アニメ番組提供)

## ■主要な持分法適用関連会社

- (株) インタラクティブヴィ (CS委託放送)
- テレビ東京ブロードバンド(株) (映像コンテンツの配信・提供)

番組制作関連  
業務委託等番組販売委託・  
映像コンテンツ供給等

## 放送事業

(地上波放送、国内番組販売、  
BS放送関連等)テレビ東京  
TV TOKYO Corporation

## ライツ事業

(ソフトライツ、イベント等)

放送周辺権利事業  
関連業務の委託番組制作協力・  
情報提供等番組宣伝の広告の掲載、  
情報・コンテンツの供給等

## ライツ事業 (ソフトライツ・イベント等)

## ■連結子会社

- (株) テレビ東京ミュージック  
(音楽著作権の管理、イベント、音楽番組の制作等)
- テレビ東京ゴルフダイジェスト・オンラインLLC合同会社  
(ゴルフ関連の検定事業・通信販売)

## ■その他の関係会社

- (株) 日本経済新聞社 (新聞・出版)

## グループ会社紹介

## 株式会社テレビ東京システム

当社はテレビ東京およびテレビ東京系列(テレビ大阪、BSジャパンなど)、テレビ東京グループ各社の業務に関わるコンピュータシステムの開発・保守・運用を行っています。

特に、地上デジタル放送では、テレビ東京の基幹システムである「営業放送システム」の開発・保守を行っており、2006年開始のワンセグ放送も同システムを使用しています。

また、2007年度には、番組コンテンツの情報を体系的に整備・集約した番組情報基盤システムを開発しました。今後は、オープン系システムなど技術の向上を図るとともに、品質向上や開発期間の短縮、並びにコスト削減を目指してまいります。

## 株式会社テレビ東京システム 会社概要

(2008年3月31日現在)

- 設立：1987年10月1日
- 資本金：1,000万円
- 売上高：11億114万円(2008年3月期実績)
- 従業員数：25名
- 事業内容：●ソフトウェア開発・保守  
●インフラ構築  
●ネットワーク設計・運用・保守

## 会社の概要

会社名： 株式会社 テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)  
本店所在地： 〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12  
URL： [www.tv-tokyo.co.jp](http://www.tv-tokyo.co.jp)  
開局： 1964年4月12日  
呼出符号： JOTX-DTV (デジタル7チャンネル)  
JOTX-TV (アナログ12チャンネル)  
資本金： 89億1,095万円  
従業員数： 連結1,304名、単体681名

## 主な事業所

本社・スタジオ (東京都港区)  
天王洲スタジオ (東京都品川区)

## 支社・支局

関西支社/名古屋支社/ニューヨーク支局/ワシントン支局/  
ロンドン支局/モスクワ支局/香港支局/ソウル支局/北京支局/上海支局

## 役員 (2008年6月20日現在)

### 代表取締役会長

菅谷 定彦

### 代表取締役社長

島田 昌幸

### 専務取締役

箕輪 新一 経理、内部統制担当

### 常務取締役

犬飼 正 技術局、システム開発室担当 兼 番組情報基盤整備担当  
石川 博 メディア事業推進本部長  
菊池 悟 営業局担当 兼 BS業務推進本部長  
藤延 直道 編成局、制作局、報道局、スポーツ局担当 兼 BS業務推進本部長補佐  
張替 正美 秘書室、総務局、人事局担当 兼 労務担当  
神田 忠慶 ネットワーク局長  
深沢 健二 経営戦略局、関連企業統括室、コンプライアンス統括室担当

### 取締役

佐々木 彰 ドラマ制作室担当 兼 統括プロデューサー  
今泉 至明 特命事項担当  
高島 政明 経理局長  
三宅 誠一 経営戦略局長 兼 関連企業統括室長  
田村 明彦 営業局担当補佐 兼 BS業務推進本部長補佐  
斎藤 史郎 株式会社日本経済新聞社 専務取締役  
中地 宏 監査法人ナカチ 会長・代表社員

### 常勤監査役

奥川 元

### 監査役

出原 達夫  
野村 尚宏 株式会社日本経済新聞社 常務取締役  
荒木 浩 東京電力株式会社 顧問  
齋藤 宏 株式会社みずほコーポレート銀行 取締役頭取

## TXNネットワーク

TXNネットワークは、テレビ東京をキー局として系列を組み、ネットワークを構築しています。6局で構成された効率的なネットワークは、全国視聴可能世帯の67.5%をカバーしています。

### テレビ大阪株式会社

〒540-8519 大阪市中央区大手前1-2-18  
[www.tv-osaka.co.jp](http://www.tv-osaka.co.jp)

### テレビ愛知株式会社

〒460-8325 名古屋市中区大須2-4-8  
[www.tv-aichi.co.jp](http://www.tv-aichi.co.jp)

### テレビせとうち株式会社

〒700-8677 岡山市柳町2-1-1  
[www.webtsc.com](http://www.webtsc.com)

### 株式会社テレビ北海道

〒060-8517 札幌市中央区大通東6-12-4  
[www.tv-hokkaido.co.jp](http://www.tv-hokkaido.co.jp)

### 株式会社TVQ九州放送

〒812-8570 福岡市博多区住吉2-3-1  
[www.tvq.co.jp](http://www.tvq.co.jp)

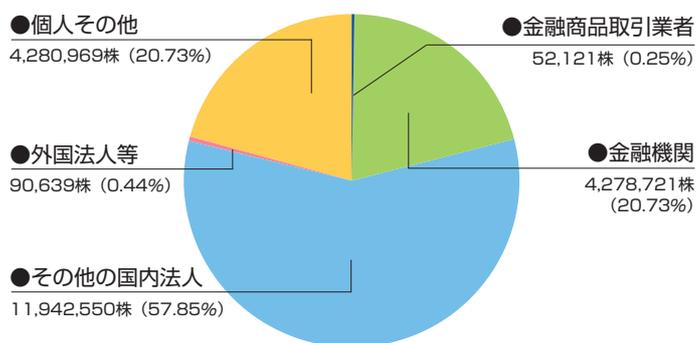
(注) 1. 取締役 斎藤史郎、中地宏の両氏は社外取締役です。  
2. 監査役 野村尚宏、荒木浩、齋藤宏の3氏は社外監査役です。

# 株式情報 (2008年3月31日現在)

## 株式の状況

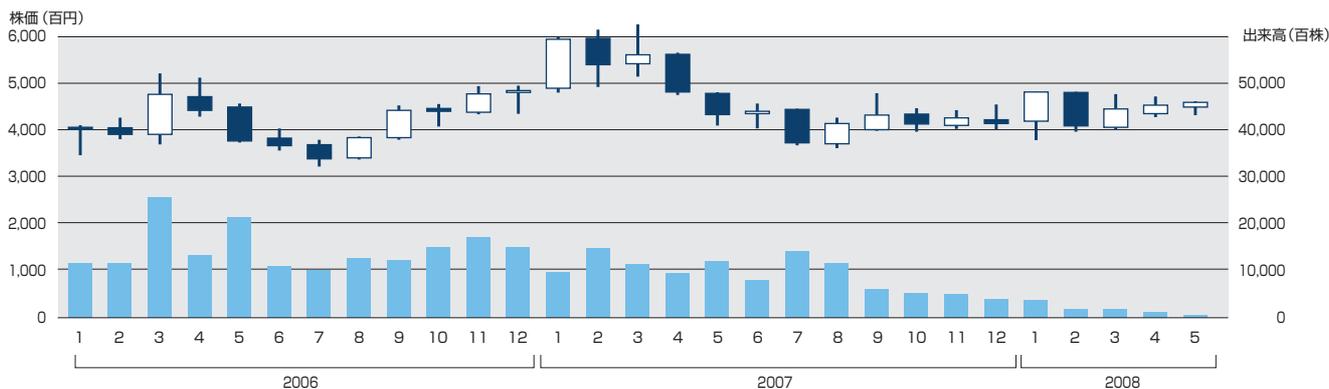
発行可能株式総数	82,580,000株
発行済株式の総数	20,645,000株
株主数	3,626名
単元株式数	100株

## 所有者別株式分布状況



株主名	持株数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社日本経済新聞社	6,881	33.33
糸山英太郎	2,970	14.39
日本生命保険相互会社	1,036	5.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	984	4.77
株式会社みずほ銀行	600	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	590	2.86
東レ株式会社	518	2.51
株式会社毎日放送	518	2.51
三井物産株式会社	518	2.51
テレビ東京社員持株会	351	1.70

## 株価と売買高の推移



(注) 株価は東京証券取引所における各月の始値、高値、安値、終値を示しています。出来高は月の出来高の合計を示しています。

### 株主優待のお知らせ

株主の皆様にご理解いただくために、公開番組へ抽選でご招待しています。また、当社オリジナルクオカード(500円分)を謹呈しています。



毎年3月31日現在の所有株式  
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「夏祭りにっぽんの歌」に抽選でご招待

毎年9月30日現在の所有株式  
100株以上の株主様に対し



- (1) 500円分のオリジナルクオカードを1枚謹呈
- (2) 当社公開番組「年忘れにっぽんの歌」に抽選でご招待

# ホームページのご案内／株主メモ

## ホームページのご案内

番組情報をはじめ、当社が出資している映画・イベント情報など様々な情報をホームページでもご覧いただけます。



当社ホームページ  
[www.tv-tokyo.co.jp](http://www.tv-tokyo.co.jp)

IR情報のページでは、毎月の売上実績、有価証券報告書などの各種報告書を掲載しています。四半期ごとの決算説明会の模様を動画配信しています。



当社IR情報のホームページ  
[www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir](http://www.tv-tokyo.co.jp/kaisha/ir)

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催(議決権の基準日は毎年3月31日)

剰余金の配当 株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。

中間配当 中間配当を実施する場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。

公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(郵便物送付先・お問い合わせ先)  
〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324  
専用ホームページの“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。  
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社  
本店及び全国各支店

外国人等の株主名簿への記載制限 放送法に関連して、当社定款には次の規定があります。  
【定款第12条】

当会社は、次の各号に掲げる者(以下「外国人等」という。)のうち、第1号から第3号までに掲げる者により直接に占められる議決権の割合と、これらの者により第4号に掲げる者を通じて間接に占められる議決権の割合として総務省令で定める割合とを合計した割合が、当会社の議決権の5分の1以上を占めることとなるときは、放送法第52条の8第1項及び第2項の規定に従い、外国人等の取得した株式について、株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載または記録することを拒むことができる。

- (1) 日本の国籍を有しない人
- (2) 外国政府またはその代表者
- (3) 外国の法人または団体
- (4) 前3号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体



お問い合わせ先

株式会社テレビ東京 総務局総務部

〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12

Tel. (代表) 03-5470-7777 (6月30日まで03-3432-1212)

※2008年7月1日より代表番号を変更いたします。



本書は再生紙を使用しています。